

4 学年題材指導計画

やわらかい声で伸び伸びと歌おう

(3 時間扱い)

1 . 題材のねらい

旋律の気分や歌詞の内容を味わいながら，明るくきれいな声で生き生きと歌う。
二部合唱による歌声の響きを感じ取りながら，曲想豊かに表現できるように工夫する。

2 . 教材について

小学校学習指導要領 < 第 3 ・ 4 学年の内容との関連 >

(1) 空と風のきっぷ 作詞 高木あきこ
/ 作曲 黒沢吉徳

A(1)ア A(2)イ A(3)ア B(1)イ

合唱にリコーダーの副次的な旋律が効果的に扱われた美しい響きの曲である。子どもの実態に即してパートを分担しやすいので，学級や学年の演奏曲としても優れた教材である。

(2) 小さな世界 作詞 / 作曲 リチャード・シャーマン、パート・シャーマン
訳詩 若谷和子

A(1)ア A(2)イ A(3)ア

原曲は「It's a Small World」で，世界各国の母国語に訳されて広く親しまれている楽曲である。前半のリズミカルな部分は 2 拍の流れに乗って生き生きと，また後半はレガートな旋律感を生かして，明るく柔らかな声の出し方に気を付け，自分の声の響きを感じ取りながら，のびのびと歌うようにしたい。また，前半部と後半部を歌い合わせて合唱の響きを味わうこともできる。

3 . 題材の評価規準

A と判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	やわらかい声で伸び伸びと歌いたいという思いや願いをもち，進んで歌唱表現をしている。	旋律の気分を感じ取り，聴いたり歌い方を工夫したりしている。	リズムや音程，歌詞や旋律の流れ，歌詞の発音などに注意しながら，斉唱したり，簡単な二部合唱をしたりしている。	自分たちの歌う曲を選択するために，曲のよさや美しさを感じ取りながら，範唱を聴いている。
学習活動における 具体的 の評価規準	自然で無理のない声で歌うことに興味・関心を持ち，のびのびとした声で歌おうとしている。 やわらかい響きのある声 伸び伸びとしたお手本になるような声 歌唱表現を聴いて，同じように歌いたいという思いや願いをもち，進んで歌唱表現をしようとしている。 自分の思いが表現できるよう繰り返し歌おうとする姿勢	自然で無理のない声，きれいな声，響きのある声による美しい歌唱表現を求め，歌い方を工夫している。 より響きのある美しい歌唱表現の追求 歌唱表現の豊かさや美しさを友達に教授 旋律の気分や歌詞の持つリズム，言葉の抑揚などを感知取りながら，表現に生かしている。 歌詞の表す情景や気持ち，音楽の要素の感受や工夫	自分の声の持ち味を生かして，ていねいに歌ったり，伸び伸びとした歌声で歌ったりしている。 自分の歌声をさらに高めようとする姿勢 リズム・旋律・強弱・速度・音色・和音などに気を付けた豊かな表現 友達の声に耳を傾け，みんなの声と合わせて歌ったり，伴奏や他のパートを聴いて歌ったりしている。 全体をまとめようと周囲への働きかけ 常に他のパートの声を聴きながら合わせて	旋律の気分に合った友達の歌い方のよさを見つけながら聴いている。 音楽的な諸要素のより多くの気付き 旋律と旋律とのかかり合いによって生まれる響きの広がりや気分の変化を感じ取った鑑賞

4. 指導と評価の計画（3時間扱い）

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	具体の 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>曲想を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小さな世界」の友達の演奏ビデオから、表現のよさを感じ取る。 ・見つけた友達よさを生かして、響きのあ る声で、のびやかに主旋律を歌う。 旋律の気分を感じ取って、二部合唱す る。 ・前半部と後半部の旋律の気分や歌詞のリ ズムの違いを見つけ合う。 ・見つけたことを生かして、前半部と後半 部を合わせて、二部合唱する。 	ア -	A(1)ア					発表 歌唱聴取 行動観察
2	<p>範唱を聴いて、曲の特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、曲の感じについて感想を 発表する。 ・歌詞や旋律で自分の気に入ったところや 感じたことを発表し合う。 主旋律を歌う。 ・主旋律を歌詞唱したり、“ル”や“ラ” で歌ったりする。 ・曲想を感じ取って主旋律を伸び伸びと歌 う。 	ア - イ - ウ -	A(1)ア A(2)イ A(3)ア					発表 学習カード 歌唱聴取 行動観察
3	<p>曲想を生かして、のびのびと歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・響きのあ る声で、のびやかに主旋律を歌 う。 ・低音部を全員で歌ったり、交互唱したり しながら覚えて、二部合唱の練習をす る。 グループに分かれて、旋律の特徴を生か して歌う。 ・伸びやかな部分と軽快な部分の雰囲気 の違いが表現できるように、話し合ったり 練習したりする。 ・曲の山が感じられる部分の歌い方を工夫 し合う。 ・友達のよかったところを見つけ合い、曲 想に合った歌い方を確かめ合いながら、 全体をまとめる。 	ア - ウ - イ - イ - エ -	A(3)ア A(3)ア A(2)イ A(2)ア B(1)イ					歌唱聴取 行動観察 グループ 活動 (相互評価)